

2021 年 11 月 12 日

議会改革推進委員会
委員長 岡村芳樹様

高橋とみお
玉城 清剛
稲田 敏昭

議会改革推進委員会でのオンライン会議システムの試用・検討に関する要望書

全国の市議会では、来るべきコロナ禍第6波に備えるべく、一斉に議会のオンライン化の検討が進められています。コロナ以外の感染症の蔓延や、大きな災害の発生も予見される中、市民の負託にこたえるべき議会は、不測の事態に備える必要があります。また、そもそも感染症拡大を防ぐという観点から、社会や行政にオンライン化による対策を要請する立場にある議会が、まずは率先してオンライン化に取り組まなければならないのは、本年1月、10月に要望した折と変わらない「政治の責任」という認識です。

さて、本年11月9日の議会改革推進委員会（以下「同委員会」とする）では、①佐倉市議会でのタブレット導入の決定、②2023年8月のタブレット端末導入スケジュール、が確認されました。

タブレット端末導入とあわせ実現を目指す検討項目については、同委員会での「タブレット使用項目の検討期間」に決定がなされるという認識です。

他方、上記検討期間の前に試用・検討される2種のシステムは、ともに「議会のペーパーレス化」とそれに伴う業務効率化には資するものの、オンライン会議の機能を備えてはおりません。

そこで同委員会において、上記「システムデモ」の期間に、ZOOM等のいわゆる「オンライン会議システム」もあわせて試用・検討いただきたく要望いたします。

なお他市では、委員会室で通常通り実施される委員会等の会議体に、参加議員がタブレットを持ち込み、「オンライン会議システム」に参加した状態で会議を実施している事例もございます。

このような形態の実現により、「オンライン会議システム」の利用が常態化している当該議会では、①コロナ禍第6波や大災害といった緊急事態にも「議会の持続可能性」が高まる、②オンライン会議システムの映像をそのまま放映することで、議会の透明性が高まる、等の「市民にメリットのある」議会改革に成功しています。

以上から、佐倉市議会の同委員会においても、「委員会等の会議体」の試用・検討を実施し、オンライン化の検討をすすめるよう要望いたします。

以上